



平成30年5月10日

### 意欲を支えるもの

連休明け、学校へ行く意欲が湧かないという子供も多いのではないかな。そんなことを思いながら欠席状況を確認します。全校での欠席者は3名。普段と変わりません。むしろ少ない方です。学習に集中できない子供もいるのではないかな。そんな思いで校内を歩きます。どの教室も落ち着いて学習に取り組んでいます。元気がなさそうな子供も目に付きません。明るい挨拶もたくさん聞こえてきます。世間では、「5月病」と呼ばれ意欲低下の時期ですが本校には当てはまらないようです。きっと充実した連休だったのでしょう。家庭での整った生活習慣、満足できる過ごし方のおかげで、こうしてスムーズに学校生活を送ることができていると思います。家庭生活の大切さ、そして本校の子供たちの家庭のすばらしさを感じます。

結団式も終え、運動会の練習が始まりました。子供たちはやる気満々、全力で取り組んでいます。

2年生は「玉入れ！ポンポン」の練習をしています。行進は力強く、回れ右はきびきびしています。等間隔にまっすぐ並ぶこともできます。低学年とは思えない意欲を感じます。この競技は1・2年生合同で行いますが、この時間は2年生だけで練習していました。2年生は、お兄さんお姉さんとして1年生に手本を示すために事前に練習をしているのです。この意味を理解し、真剣に取り組んでいたというわけです。昨年までは、ただお世話をしてもらうだけの立場だったのですが、2年生となり、しっかりと自分の果たすべき責任について考えられるようになったのです。役割が与えられる、責任が課せられるということも、成長のためにはとても大切なことであることが分かります。



〈結団式〉

5・6年生は「東明ヶ原の戦い2018（騎馬戦）」の練習をしています。各団が円になり誰と騎馬を組むかを決める相談が始まりました。6年生が昨年の経験を語っています。どのような組み合わせが有利か5年生に教えるためです。団長が組み合わせを指示している団もあります。それぞれの希望を聞きながらもテキパキと決まっています。そのうち、上に乗る者、馬となる者を交代しながら試す団も出てきました。それぞれの意見を意欲的に出し合っていて決めています。いろいろと智恵を絞りながら騎馬ができあがっていきます。5・6年生ともなると経験を生かし見通しをもって練習に取り組むことができます。

安定した気持ち、期待され責任を感じる、経験を生かし見通しをもてるといったことが子供たちのやる気を引き出していることを感じました。この意欲で臨む運動会が楽しみです。